

# 全日本小学生バンドフェスティバル岩手県大会 実 施 規 定

## 第1章 総 則

- 第1条** この大会は「全日本小学生バンドフェスティバル岩手県大会」という。
- 第2条** 全日本小学生バンドフェスティバル岩手県大会（以下、県大会）は、岩手県吹奏楽連盟（以下、県吹連）に加盟する団体が参加して、毎年実施する。
- 第3条** 実施会場・日時などの必要事項は、県吹連評議員会（以下、評議員会）の協議により決定する。

## 第2章 実施部門・実施方法

- 第4条** ステージ部門およびフロア部門に分け、それぞれ独立した大会として実施する。なお、ステージ部門はステージ上での座奏を中心とした演奏形態の部門であり、フロア部門とはアリーナフロア上での動作を伴う立奏を中心とした演奏形態の部門である。
- 2 ステージ部門の選出母体となる地区は次のとおりとする。
- (1) 県北地区（久慈・県北支部）
  - (2) 盛岡地区（盛岡支部）
  - (3) 中央地区（花巻・北上支部）
  - (4) 県南地区（奥州・一関支部）
  - (5) 沿岸地区（宮古・釜石気仙支部）
- 3 フロア部門は地区大会を実施しない。
- 4 同一団体が両部門に出場することを認める

## 第3章 参加資格・参加規定

- 第5条** 参加人員は次のとおりとする。ただし、支部大会の申込人数を超えることはできない。
- (1) ステージ部門… 65名以内（指揮者は含まない。）
  - (2) フロア部門… 80名以内（ドラムメジャー・指揮者は含まない。）
- 第6条** 参加資格は小学校に在籍している児童とする。ただし、出演者が二つ以上の団体に重複して出場することは認めない。なお、参加形態は以下のとおりとする。
- ①単独校（従来通りの参加形態）
  - ②合同バンド
 

以下の条件のもと単独で本大会に参加できない団体が、各々の団体長の許可のもと編成する団体。

ア 単独校どうし、単独校と地域バンド、地域バンドどうしの合同を認める。

イ 合同バンドを編成する団体数に制限は設けない。

ウ 単独で本大会に出場する団体は、合同バンドでの参加は認めない。
  - ③地域バンド
 

任意の個人または団体が組織し、小学生で組織された団体。なお、小学生とは学校教育法で定める小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校の小学部に在籍している児童をいう。
- 2 その他、1項（1）～②および③に該当しない団体の参加については、事務局でこれを検討し、常任理事会で参加可否を決定する。
- 第7条** 指揮者の資格については制限はしないが、加盟団体の長が認めた者とする。
- 2 同一部門において指揮することができるのは1

- 団体とする。
- 第8条** 参加団体の人員および資格に疑義あるときは出場を停止または失格とする場合がある。

## 第4章 演奏・演技

- 第9条** 参加団体は、任意の曲を演奏・演技して審査を受けるものとする。
- 2 著作権の存在する楽曲を編曲して演奏する場合は、事前に著作権者から編曲の許諾を受けなければならない。この許諾を受けないで本大会に出場することは認めない。
- 第10条** 編成は、木管楽器・金管楽器・打楽器を中心としたものを原則とする。なお、手具などの使用上のルールは別途定める。
- 2 歌声については、スキヤット・ハミング・歌詞を認める。
- 第11条** 出演時間は次のとおりとする。出演時間とは、演奏または演技の開始より終了までの時間をいう。
- (1) ステージ部門… 7分以内
  - (2) フロア部門… 6分以内
- 第12条** 出演時間が超過した場合は失格とし、審査の対象としない。
- 第13条** 服装等は任意とする。
- 第14条** 出演順序は実行委員会において決定する。

## 第5章 表彰および県代表

- 第15条** 審査員は評議員会で選出し、会長がこれを委嘱する。審査員の数は原則として5名とする。
- 2 審査方法は評議員会の定める審査内規による。
- 第16条** 表彰は部門毎に金賞、銀賞、銅賞のいずれかを贈る。また、代表に選出された団体に副賞としてトロフィーを贈る。
- 第17条** 参加団体の中から次の数の団体を東北吹奏楽コンクールまたは東北マーチングコンテストに推薦する。
- (1) ステージ部門 ---- 2
 

ただし、岩手県吹奏楽コンクール小学生小編成部門とあわせて3団体まで推薦する。
  - (2) フロア部門 ---- 4まで
 

別に開催する全日本マーチングコンテストと合わせて7団体推薦する。
- 2 前年度全日本小学生バンドフェスティバルで金賞を受賞した団体は、1項とは別に東北吹奏楽コンクールまたは東北マーチングコンテストに参加できる。ただし、ステージ部門においては第4条2項に定めた地区大会での演奏を経て県大会および東北大会に参加できる。
- 第18条** 県大会出場に要する費用は参加団体の負担とする。

## 第6章 地区代表数

- 第19条** ステージ部門県大会に各地区より参加できる団体数（以下、地区代表数）の合計は、岩手県吹奏楽コンクール小学生小編成の部とあわせて、概ね12とする。
- 2 各地区より参加できる団体数は評議員会で決定する。
- 第20条** フロア部門においては、第6条3項の定めにより地区大会を実施しないため、地区代表数を設けない。

## 第7章 そ の 他

- 第21条** 県大会実施にあたって評議員会が必要と認めた場合は、共催および後援、協賛団体を持つこ

とができる。また、賞状・賞品の贈与を受けることができる。

**第22条** 県大会実行委員会は県吹連会長の委嘱により組織される。

**第23条** その他開催上の細目については実行委員会が定める。

**第24条** この規定は評議員会の議により改定することができる。

#### 第6章 付 則

本規定は、平成14年5月11日より施行する。

本規定は、平成16年5月8日より施行する。

本規定は、平成19年4月12日より施行する。

本規定は、平成29年5月3日より施行する。

本規定は、令和3年5月1日より施行する。

本規定は、令和5年4月29日より施行する。

本規定は、令和6年4月28日より施行する。

本規定は、令和7年4月29日より施行する。

本規定は、令和8年4月29日より施行する。

※2012年度大会より「メイジャーバトンの放り投げ」と「カラーガードのフラッグ放り投げ」が、危険防止の観点から「禁止」です。

## 全日本小学生バンドフェスティバル岩手県大会 審 査 内 規

**第1条** この審査内規は、小学生バンドフェスティバル岩手県大会実施規定第15条に基づき、審査方法と賞の決定、代表の決定方法について定めるものである。

**第2条** 審査員は、A(金)、B(銀)、C(銅)の3段階で評価する。

2 審査員は審査説明会で示したA、B、Cの数を厳守し、審査を行う。A、B、Cの数は、その年度の評議員会で定める。

3 審査員はA評価のうち代表数+1の団体を代表候補団体として選出し、その団体のA評価をⒶと標示する。ただし、代表候補団体の数は2項のA評価の数を越えないものとする。

**第3条** 審査員の過半数がA評価の場合は金賞、過半数がC評価の場合は銅賞、それ以外を銀賞とする。

2 不測の事態により審査員が偶数になった場合、審査員の半数以上がA評価の場合は金賞、半数以上がC評価の場合は銅賞、それ以外の場合は銀賞とする。ただし、A評価とB評価、A評価とC評価、B評価とC評価のそれぞれが半数となった場合は銀賞とする。

**第4条** Ⓐが過半数の団体のうち、その数が多い団体から選出し、同数の場合はA評価の数が多い団体から選出する。

2 1項で代表数を満たさない場合、Ⓐが次に多い団体のうちA評価の数が多い団体から選出する。ただし、A評価の数は過半数とする。

3 2項で代表数を満たさない場合、A評価の多い団体から選出する。

4 1項、2項または3項において、代表選出が困難な場合は審査員の投票により選出する。

5 不測の事態により審査員が偶数になった場合も、1項から4項に基づいて選出する。

**第5条** 第3条、第4条に基づいて、大会会長が賞と代表を承認、決定する

**第6条** 審査結果の処理は、大会会長から委嘱された3名によって構成する判定委員会が行う。

**第7条** 審査一覧表は、参加団体に配布する。

**第8条** この審査内規は、評議員会の議決により、改定することができる

#### 附 則

この内規は、平成30年2月4日より実施する。

この内規は、令和3年5月1日より実施する。

この内規は、令和7年4月29日より施行する。